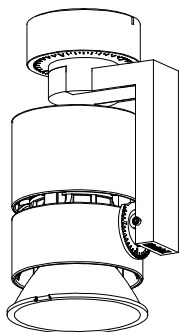


姿図



仕様

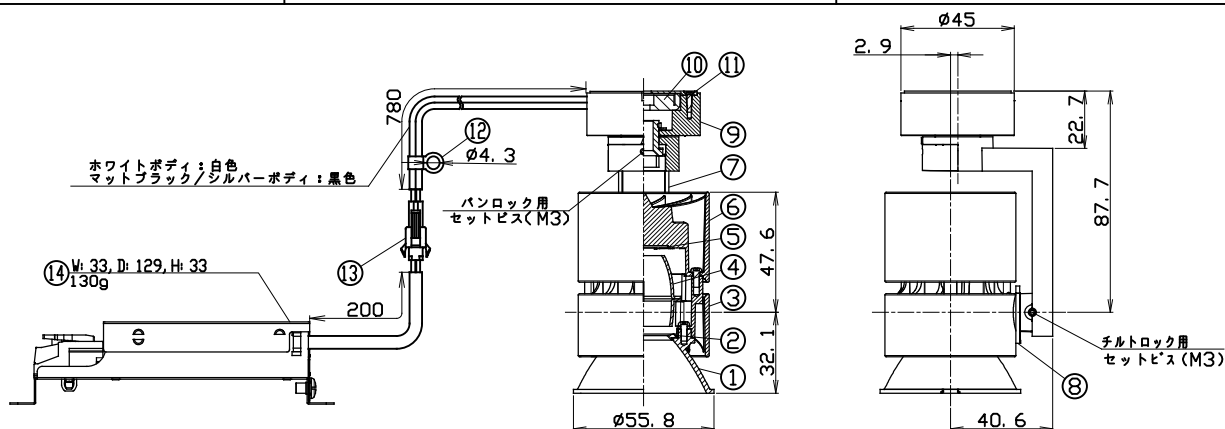
- 光源 LEDモジュール (装着済)
- 配光 フラッド (F)
- ボディ ホワイト(W)、マットブラック(M)、シルバー(S)
- コーン ホワイト(FW)、マットブラック(FM)、クロムコーン(FC)
- 首傾角度 上10度 下90度
- 回転角度 380度
- 調光方式 逆位相制御方式(T1)
- 入力電圧 100V \pm 6%(専用ドライバー入力)
- 入力電流 0.220A(専用ドライバー100V入力時)
- 消費電力 21.6W(専用ドライバー100V入力時)
※消費電力はJIS C 8105-3の試験測定方法による
- 器具入力電圧 36, 9V
- 器具入力電流 0.48A
- 専用ドライバー 定電流型(50/60Hz共用)
- 質量 410g(専用ドライバー込み)
- バッ、チルトロック 用工具付属

製品コード

MMP-060S/FW/W/MS/F/10A24/T1/1
MMP-060S/FW/W/MS/F/10A27/T1/1
MMP-060S/FW/W/MS/F/10A30/T1/1
MMP-060S/FW/W/MS/F/10A35/T1/1
MMP-060S/FW/W/MS/F/10A40/T1/1

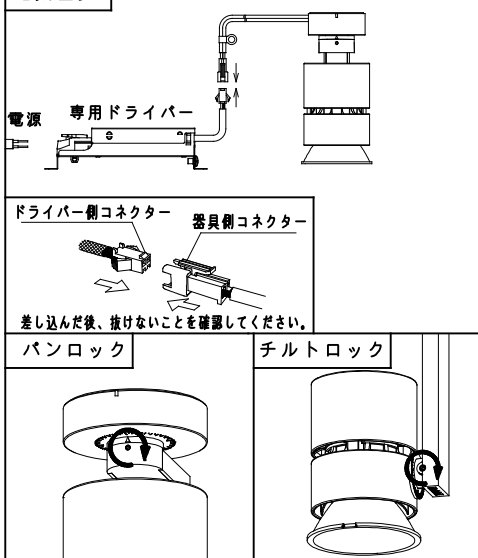
MMP-060S/FM/M/MS/F/10A24/T1/1
MMP-060S/FM/M/MS/F/10A27/T1/1
MMP-060S/FM/M/MS/F/10A30/T1/1
MMP-060S/FM/M/MS/F/10A35/T1/1
MMP-060S/FM/M/MS/F/10A40/T1/1

MMP-060S/FC/S/MS/F/10A24/T1/1
MMP-060S/FC/S/MS/F/10A27/T1/1
MMP-060S/FC/S/MS/F/10A30/T1/1
MMP-060S/FC/S/MS/F/10A35/T1/1
MMP-060S/FC/S/MS/F/10A40/T1/1



	品名	材質	摘要
1	コーン	アルミダイカスト	FW, FM: アクリル焼付塗装 FC: メッキ仕上
2	グレアカットリング	ゴム	_____
3	ボディ	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
4	リフレクター	アルミ	_____
5	LEDモジュール	_____	_____
6	ソケット	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
7	アーム	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
8	チルトプロトラクター	樹脂	_____
9	マグネットケース	アルミダイカスト	アクリル焼付塗装
10	マグネット	_____	_____
11	マグネットカバー	樹脂	_____
12	セーフティークリップ	真ちゅう	_____
13	セーフティーコネクター	樹脂	_____
14	電源ドライバー	_____	逆位相制御方式調光対応

電氣回路



ご注意

- LEDにはバツキがある為、同一品番でも発光色、明るさと異なる場合があります。
- 器具の近くでラジオ・テレビ等を使用しないでください。雑音が入る場合があります。
- 器具の改造は危険ですので、絶対にや行わないでください。
- 灯具を上向きに照射しないでください。発光部に埃が積もり、火災の原因になる恐れがあります。
- ドライバーは専用ドライバーを使用してください。
- 1次側電線は、直接専用ドライバーに接続してください。
- 電気回路への接続の際には、JIS C8155規格に沿って容量計算してください。
- 調光器は適合調光器（逆位相制御方式）：SX-CD500 RPT（別売）を使用してください。
- 器具は、照射物より0.1m以上離してご使用ください。
- 周囲温度0℃〜35℃の範囲でご使用ください。
- 不用意に器具に触れるとやけどの恐れがあるため、番付・調整者が外がアームズリーチ内に寄り付けない手段を設け、もしも手が触れられぬよう器具に囲いを設けてください。
- 照射方向設定後、パンロック及びチルトロック用セットビスを確実に締めてください。
- パン、チルトがロックした状態で器具を動かさないでください。
- パン、チルトロック用セットビスは緩まずにしてください。脱落し、紛失する恐れがあります。

- 落下防止のため、器具側ケーブルに付属されているセーフティクリップをネジ (M4) で器具から300mm以内の堅固な場所に必ず取付けてください。
- 器具は必ず、凹凸の無い鉄板に取付けてください。
- 器具を取った後は、十分な保持力が確保され、落下しないことを確認してください。
- 器具同士を隣接させる場合、10mm以上の間隔を設けてください。
- ペースメーカーなど電子医療機器に器具を近づけないでください。
- 磁気記憶媒体 (フロッピーディスク、磁気カードなど) に器具を近づけないでください。
- 各種電子機器、映像機器、通信機器 (携帯電話、時計など) に器具を近づけないでください。
- 器具が破損する恐れがありますので、器具間に衝撃をあてないでください。
- 磁石が錆を食うよう、高温多湿環境下で使用しないでください。